

ミニ・パラグライダー-type II

鳥取県立鳥取工業高等学校 足利 裕人

●どんな体験なの？

パラグライダーは、パイロットが振り子のおもりとしてぶら下がるため、主翼だけで安定して飛ぶことができます。パラシュートが翼の役目をして、飛行機のように滑空することができます。おもりの重さや位置を調整したり、翼の後縁（網掛け部分）の角度を変えたりして、滑空するための条件を調べることができます。

●体験のしかたとコツ

【用意するもの】

発泡ポリスチレン板をスライスした翼（30cm×10cm、厚さ1mm）、もめん糸30cm、おもり（木や紙粘土の人形）約1g、カラーシール2枚

【実験のしかた】

- (1)木や紙粘土の人形を、油性ペンで着色します。
- (2)長さ30cmの糸を人形の腕に通します。
- (3)糸の両端を、翼の左右両端に、カラーシールで固定します。カラーシールは翼の前縁1/5の位置に付けます。
- (4)飛ばしてみましょう。

※おもりが重いときは、すぐに床に落下します。カラーシールの位置を少しずつ後ろに下げたり、翼の後部のフラップ部分を、上方に10度程度（後で飛ばしながら角度は調整します）曲げたりして飛ばしてみます。おもりの重さや位置で、飛びかたが変わるのがわかります。

●気をつけよう

- ・糸を通すのに針を使うときは、指に刺さらないように注意しましょう。
- ・駐車場や道路など、車が通るところでは、飛ばさないようにしましょう。

●もっとくわしく知るために

翼の作りかたや、飛ばしかたのくわしい解説や動画が、以下のwebサイトにあります。

- ・「アシさんの部屋」URL：<http://www.geocities.co.jp/Technopolis/2931/>

